

## 1 着任式・1学期始業式

4月8日、着任式・始業式を行いました。令和8年度がスタートしました。

着任式では、松永朋子事務長をはじめ、9名の先生方が着任されました。

生徒会長が、先生方が来てくださることをとても楽しみにしていたことなど、緊張しながら立派に生徒代表歓迎の言葉を述べてくれました。



その後の始業式では「忍耐」「結果にこだわる」について次のように話をしました。

校訓「忍耐」について。めざす生徒像を「相手を思いやり、我慢強く素直で礼儀正しい生徒」としています。これから入学する1年生は皆さんを見て学びます。まずは礼儀正しい姿のモデルを示してください。礼儀正しいとはどのような姿ですか？まずは日々の挨拶からお手本を示してください。

「結果にこだわる」について。これから、様々な学習や部活動において、目標を立てて取り組むと思う。「目標達成」という結果にこだわって取り組んでほしい。「検定で〇級をとる」「アビリンピックで〇賞を取る」「〇〇大会に出場する、入賞する、優勝する」など自分が立てた目標達成にこだわって取り組んでほしい。こだわって取り組むということは、「限られた時間」で「自分が何をやるのか」を考えてひたむきにに取り組むこと。結果にこだわってひたむきに頑張ることが皆さんを成長させてくれ、進路実現につながります。

## 2 入学式

着任式・1学期始業式の後、入学式を行いました。

32名の入学許可宣言を行い、式辞では「本校の校訓と目指す生徒像について、これからの学校生活一日一日を大切にしてほしいこと、希望が丘高等特別支援学校での学校生活が充実するよう願っていること」を話しました。

新入生代表宣誓では、代表の生徒が「本日、私たち新入生32名は、長崎県立希望が丘高等特別支援学校の生徒として、入学を許可されました。私たちは、これから『忍耐、錬達、希望』の校訓の趣旨にのっとり、立派な社会人、職業人になるよう、学校生活を全うすることを誓います。」と原稿を見ずに力強く宣誓してくれました。

本日から、93名の生徒の「幸せ」のために教職員一同全力で取り組みます。